

北洋銀行
ほっくー基金

北海道生物多様性保全助成制度

2025 年度助成公募要領

(ほっくーコース・トムコース)

はじめに

私たちが暮らす北海道は、広大な山々や湿原、湖沼などが織りなす美しい大地とそこに生きる多種多様な野生生物など、豊かな自然環境に恵まれており、その恩恵は、現在と将来の世代が共有し、未来に引き継がれていかなければなりません。しかし、人間活動や過度な開発、外来生物の侵入や地球温暖化の進行などが生態系に大きな影響を及ぼし、多くの野生生物が絶滅の危機に瀕するなど、生物多様性を脅かしています。

北海道内では、市民団体や行政、研究機関、事業者などが、希少種の保護や生息環境の整備など生物多様性の保全に取り組んでいますが、活動に対する支援は十分とは言えません。

そのような背景を踏まえ、北洋銀行では、2010年度に「ほっくー基金」を設立し、北海道の希少種保護を中心とした生物多様性保全に取り組む動物園や活動団体に対し、2024年度までに延べ185件9,260万円の寄付・助成を行ってまいりました。また、2023年12月には、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD：Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）の取組みに賛同し、TNFDフォーラム※に参画いたしました。今後も北海道に根差した金融機関として、生物多様性保全、自然環境の維持に取り組むお客さまを支援するとともに、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

ぜひ、本公募要領をご一読いただき積極的なお申し込みをお待ちしております。

2024年11月1日

北洋銀行

「ほっくー基金北海道生物多様性保全助成制度」は北洋銀行と北海道生物多様性保全活動連携支援センターが連携して運営します。ご照会等につきましては、文中の問い合わせ先をお願いいたします。

※TNFDフォーラム：自然に関する企業のリスク管理と開示の枠組みを構築するために2021年6月に設立された国際組織で、TNFDに関連する情報の共有や枠組みの策定をサポートしています。

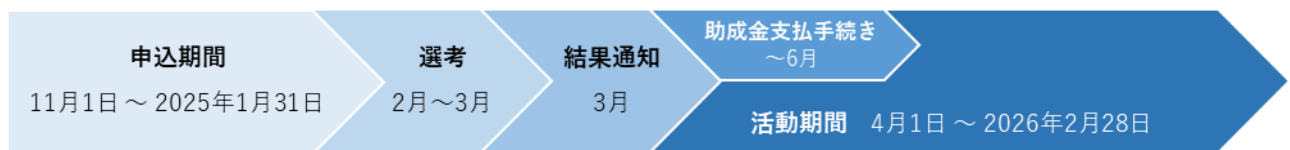
1 本助成制度の概要

(1) 各コースの概要

助成コース	ほっくーコース	トムコース※
助成金額	上限 100 万円 (10 万円単位)	10 万円 (固定)
助成対象活動	北海道内における生物多様性保全を目的とする実践的な活動	
助成対象団体	特定非営利活動法人、公益法人、協議会や複数団体の連携による協働団体、その他の任意団体、学校の部活動等の団体など	
活動期間	2025 年 4 月 1 日 (火) ~ 2026 年 2 月 28 日 (土)	
提出書類	<ul style="list-style-type: none">・ 申込書 (別記第 1 号様式)・ 支出予定表 (別記第 2 号様式)・ 定款または規約・ 役員名簿・ 活動報告書・ 過去 2 年分の財務関連書類	<ul style="list-style-type: none">・ 申込書 (別記第 3 号様式)・ 定款または規約・ 役員名簿・ 活動報告書
申込締切	2025 年 1 月 31 日 (金) 17 時必着 (メール提出)	

※「トム」とはアイヌ語で「キラッと光る」という意味

(2) 申込から採択までの流れ



2 助成対象活動

北海道内における実践的な活動で、下記のいずれかに該当することが必要となります。

- ① 絶滅のおそれのある希少野生動植物の保護対策等に資する活動
- ② 生物の生息環境の保全再生のための取組、特定外来生物等の防除のための取組など、地域における生物多様性の保全に資する活動
- ③ 生物多様性に係る活動団体のネットワークによる広域的な取組み、環境保全や生物多様性の周知や理解の促進など普及拡大に資する活動
- ④ 生物多様性がもたらす生態系サービスを次世代にわたって享受するための活動
- ⑤ 助成対象年度内に行う時機を捉えた、またはモデル性、先進性を有する生物多様性保全に資する活動
- ⑥ 北海道生物多様性保全計画 (第 2 次計画) の圏域別の取組方針に資する活動

※下記に当てはまる場合は、助成対象となりません。

- ・ 営利につながる活動
- ・ 政治的・宗教的な活動
- ・ 法令違反等をしたことのある団体
- ・ 暴力団等の反社会的団体に所属または関与している団体
- ・ 団体内の役職員など、特定の個人や事業者の利益とみなされる活動

3 助成対象団体

(1) 対象となる団体

- ① 特定非営利活動法人
- ② 公益法人（一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人）
- ③ 協議会や複数団体の連携による協働団体
- ④ その他の任意団体（主たる事務所・定款（or 規約）・役員名簿を有する団体）
- ⑤ 大学・高等専門学校・高等学校・中学校・小学校における部活動等の活動で、学生・生徒・児童が主体的に活動を企画・実施する活動（本業である研究・授業等教育カリキュラムは対象外）

(2) 申込団体が満たすべき要件

- ① 北海道内に主たる拠点を持つ非営利団体であること
※ほっくーコースの場合は、活動期間開始日（4月1日）基準で活動歴が1年以上あること。
- ② 電子メールでの電子ファイル等のやり取りが可能で、かつワード及びエクセルによる文書作成・表計算による資料作成が可能なこと
- ③ 本助成制度事務局からの指示事項に対し、誠実な対応が可能なこと
- ④ 助成申込にあたり、当該団体内で組織的な決定がなされていること
※申込者名は、当該団体の代表者（協働団体の場合はいずれかの団体の代表者）であること。
- ⑤ 助成金受取にあたり、採択団体名義の金融機関口座を用意できること
※個人名などの口座は利用できません。
- ⑥ ほっくーコースの場合は、助成活動後2年間、活動の進捗状況及び効果について、事務局からの求めに応じ、簡単な報告（年1回/A4サイズ1枚程度）が可能なこと

4 助成対象経費

(1) ほっくーコース

助成対象経費の積算にあたっては、別記第2号様式に下記の科目ごとに分けてご記載ください。なお、各科目間の比率は、一般管理費以外は問いません。

- ① 謝金
講師や専門家に指導を依頼した場合の謝礼金など
※申込団体の役職員への謝金は認められません。
- ② 旅費
飛行機・鉄道・バス・船舶などの交通費、宿泊費、高速道路通行料、自動車移動によるガソリン代など
※最も経済的な通常の経路及び方法により算出してください。
※ガソリン代は、根拠（例：15円/km×●km）を明示してください。
- ③ 備品・消耗品費
備品：活動に必要な機材や器具、什器など
消耗品費：文房具、雑貨、コピー用紙など
※金額には特に制限を設けませんが、高額な備品については、購入理由や使用方法、活動期間後の取り扱いを申込書（別記第1号様式）の「2 申込活動の内容 助成金で行う活動内容」欄に明記してください。また、より高額な備品の購入に対する追加費用でも構いません。

(例) 150 万円の備品=助成金 100 万円+自己資金 50 万円

④ 飲食費

昼食を挟む活動の際の弁当代や熱中症予防のための飲料代、食べることによる生物多様性保全を目的とした活動の際の食材購入費など

※一人あたりの金額が多くなりすぎないように注意してください。

⑤ 印刷製本費

パンフレット、チラシ、ポスター、会議資料、報告書などのデザイン・印刷にかかる費用など

⑥ 賃借料

会場使用料、機材借上料、貸切バス、レンタカーなど

⑦ 通信運搬費

各種郵送費、託送費など

※インターネットプロバイダや電話（携帯電話を含む）使用料等は対象外です。

⑧ 委託費

申込団体では実施が難しく、他の事業者等へ調査や作業を発注する際に発生する費用

※委託費が突出していると自らの団体が行う事業と見なされない可能性がありますので、ご注意ください。

⑨ 賃金

申込活動実施のために雇い入れた臨時スタッフの給与及び社会保険料、通勤費など

⑩ 雑費

振込手数料などの各種手数料、損害保険料、駐車代など上記科目に分類できない少額の支出

⑪ 一般管理費（上記以外全体に関わる費用）

団体の管理費や申込活動にかかる団体役職員の人件費など

※申込金額の 20%または 10 万円のいずれか少ない方を上限といたします。なお、助成金額の減額査定が行われた場合は、査定後の決定額が基準となります。また、支出実績が助成決定額に満たなかった場合も精算合計額を元に上限を設定いたします。

※対象にならない経費（ご不明な点はお問い合わせください）

- ・採択団体の役職員への謝金
- ・その他、申込した活動の支出として適当とは認められない経費

(2) トムコース

助成対象活動に使用する資金であれば、使途に制限はありませんが、申込書（別記第3号様式）に簡潔に内容をご記入ください。

5 申込方法・締切

(1) 提出書類

各コースで必要となる下記書類を電子メールに添付のうえ、送付してください。なお、容量の関係で複数のメールに分けて送信する場合は、全体で何通のメールかがわかるように送信してください。

提出書類	提出データ形式	
	ほっくーコース	トムコース
「ほっくーコース」申込書（別記第1号様式）※1	Word	—
「ほっくーコース」支出予定表（別記第2号様式）※1	Excel	—
「トムコース」申込書（別記第3号様式）※1	—	Word
定款または規約	PDF	PDF
役員名簿	PDF	PDF
活動報告書（年報など）	PDF	PDF
申込団体の過去2年分の財務関連書類（決算書類など）※2	PDF	—

※1 各種様式は、ホームページよりダウンロードしてください。

※2 設立後3年に満たない場合は、直近1～2年の決算書類を添付してください。

(2) 申込先

北海道生物多様性保全活動連携支援センター（HoBiCC）事務局
公益財団法人北海道環境財団「ほっくー基金北海道生物多様性保全助成制度」係
メールアドレス：hokku@heco-spc.or.jp

※事務局から受領の返信メールを必ずご確認ください。

(3) 申込締切

2025年1月31日（金）17時必着

※直接の持ち込み、FAX、郵送での提出はできません。

6 選定方法

(1) 助成総額

「ほっくーコース（助成上限額100万円・10万円単位）」、「トムコース（10万円固定）」を合算のうえ、助成総額（890万円）の範囲内で採択させていただきます。なお、採択団体数については特に定めません。

(2) 選定プロセス

採択団体の選定は、北洋銀行以外の外部有識者と北洋銀行役職員により組織されるほっくー基金選定協議会での審査による総合的な判断により決定いたします。

(3) 連続助成への対応

複数年の連続助成についての回数の制限はありませんが、1年ごとの申請・採択（複数年助成は設定していません）となります。連続して申請する場合には、新たな取り組みであることや発展的な内容であることが必要となります。また、過年の活動と同様の事業申請であった場合は、評価が低くなることをご留意ください。

7 選定基準

申込書記載にあたっては、下記の選考基準を十分意識して作成してください。

(1) ほっくーコース

- ① ほっくー基金助成制度で支援する内容か（テーマとの整合性）
「2 助成対象活動」に合致した内容かを審査します。
- ② 北海道らしい活動か（地域性）
北海道の自然環境、地域特有の生態系等を重視した活動かを審査します。
- ③ 活動はわかりやすく、手法は的確か（波及性、共感性、的確性）
本助成制度は、活動を重視しています。申込された活動内容が的確で、共感を呼ぶものであり、ほかの活動への波及効果が期待できるかを審査します。
- ④ 団体の規模にあった申込内容・金額か（資金効率化）
団体の規模に比較して、申込内容が過大・過小ではないか、金額は妥当な額かを審査します。
- ⑤ 一過性の活動ではないか（継続性・将来性）
活動の継続性はあるのか、将来性のある活動かを審査します。
- ⑥ 地域を巻き込んだ活動か（協働）
地域の関係主体との連携、協働のもとでの活動かを審査します。
- ⑦ 活動は確実に実施されるか（事業遂行能力）
事務局の体制やスケジュールなどから活動実施の確実性を審査します。

(2) トムコース

- ① ほっくー基金助成制度で支援する内容か（テーマとの整合性）
「2 助成対象活動」に合致した内容かを審査します。
- ② 北海道らしい活動か（地域性）
北海道の自然環境、地域特有の生態系等を重視した活動かを審査します。
- ③ 活動はわかりやすく、手法は的確か（共感性、的確性）
本助成制度は、活動を重視しています。申込された活動内容が的確で、共感を呼ぶものであるかを審査します。
- ④ 活動は他団体の模範となるか（モデル性）
総合的に見て、その活動が他団体の模範となりえるかを審査します。
- ⑤ 活動は確実に実施されるか（事業遂行能力）
事務局の体制やスケジュールなどから活動実施の確実性を審査します。

8 結果通知・助成金の支払

(1) 結果通知

ほっく一基金選定協議会での審査完了後、3月末をめどに郵送により採択・不採択の結果を通知いたします。

なお、ほっく一コースについては、助成金額が申込金額よりも減額となる場合があります。その場合は、事前に活動の実施可否について確認させていただいたうえで、改めて助成金額による支出計画の提出が必要となります。

(2) 助成金の支払

原則、2025年6月末までに、助成金額の全額をご指定の口座にお支払いいたします。

9 助成の公表・表示

(1) 助成団体活動内容の公表

助成団体活動内容等については、北洋銀行が発行するレポート、ホームページ等で公表させていただく場合があります。写真等の肖像権や著作権、希少動植物の棲息場所等の表記にご注意ください。

(2) 助成対象活動の明示

助成対象活動により作成した印刷物、成果物等には、本助成制度の支援を受けている旨の表示をしてください。

(例1：イベント実施のチラシ等の場合)

『このシンポジウムは、「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度」の支援を受け、実施します。』

(例2：パンフレット等の場合)

『このパンフレットは、「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度」の支援を受け、作成しました。』

(例3：備品等の場合)

『この●●（備品等名称）は、「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度」の支援を受け、購入（設置）しました。』

10 報告

活動終了後、速やかに事務局まで下記書類を電子メールに添付のうえでご提出ください。提出期限は、活動終了日から10日以内、若しくは2025年3月10日（月）のいずれか早い日付といたします。

なお、報告内容や写真は、北洋銀行が発行するレポートやホームページ等で使用させていただくことがありますので、著作権や肖像権等に制限がない公開可能なものをご提出ください。

提出書類	提出データ形式	
	ほっくーコース	トムコース
活動報告書（別記第4号様式）※1	Word	Word
「ほっくーコース」精算報告書（別記第5号様式）※2	Excel	—
写真データ	JPEG	JPEG

※1 本助成で行った活動を時系列順で具体的にご記入ください。なお、写真は様式に挿入せず、別途、電子データでご送付ください。

※2 領収書等の証憑書類の添付は不要です。なお、精算額が助成決定金額を下回っている場合は、原則として、事務局が指定する口座に返金いただきます（振込手数料はご負担ください）。

11 その他

（1）助成金贈呈式

例年、6月頃をめどに助成金贈呈式を札幌市内で予定しております。詳細については、改めて北洋銀行担当者からご案内いたします。

（2）助成金の返還等

次の事例に該当すると判断した場合は、交付した助成金の一部または全額を返還していただきます。

- ① 虚偽の申請、その他の不正な手段により助成金を受けたとき
- ② 助成の目的に著しく反する行為が認められたとき
- ③ 止むを得ない事情により、申請した活動ができなくなったとき
- ④ 活動終了時において、助成対象経費が助成決定額に満たないとき

（3）お問い合わせ先

本助成制度に関するお問い合わせ等は、下記事務局までお願いします。

北海道生物多様性保全活動連携支援センター（HoBiCC）事務局
公益財団法人北海道環境財団「ほっくー基金北海道生物多様性保全助成制度」係
メール：hokku@heco-spc.or.jp
電話：011-218-7811（平日10時～18時）
ホームページ：http://www.heco-spc.or.jp/HoBiCC/hokku_josei/index.html